

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 4 : 大分県 おおいたし 大分市 (人口 : 4 7 7, 6 6 5 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

[空]東京(羽田)・大阪(伊丹)・名古屋(中部国際)→大分空港 市中心部までエアライナーで 60 分
 [電車]JR 大分駅下車 日豊本線・博多から約 2 時間 豊肥本線・熊本から約 3 時間 久大本線・久留米から約 2 時間 20 分 [高速バス]博多バスターミナルから約 2 時間 30 分 [車]大分自動車道光吉 IC 下車 ※大分市役所から受入地区まで車で約 50 分

(2) 事業実施の目的等

援農ボランティア活動を通し、地域農業への理解を深めてもらう。

(3) 体験の内容

施設園芸作物・シイタケ等の調整・収穫作業、その他の農作業全般

(4) 受入主体

野津原のびるの会(認定農業者グループ)

(5) 受入期間

応相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	交通費：自己負担 宿泊費：原則無料 食事代：自炊分は自己負担 ※ボランティア保険は、受入側にて負担します。
①要件	都市部居住の大学生グループ(研究室やサークル)で 3~10 名程度まで 農業や農村(中山間地域)に興味のある健康な人
②応募締切り	随時受付
③宿泊施設	公共宿泊施設(旧中学校施設)
④食事形態	作業時間内の食事は農家が用意、それ以外は公共宿泊施設での自炊となります。
⑤その他	JR 大分駅から現地までの送迎は、受入主体との相談となります。 但し、農家の作業状況によっては受入出来ない場合もあります。

(7) 地域担当者から一言

市内農村地域では、年々、高齢化の進行や後継者がいない等の問題が深刻化しており、健全な農業環境を維持していくことが困難な状況に現実化しています。そのような中、農村の実情を体験してもらい、農家との家族的な付き合いや、ボランティアでの協働作業等を通じ、農業・農村の魅力と厳しさ、産品への愛着など、都会での日々の暮らしにはない、新たな発見と感動が生まれ、参加者にとって、また訪れたいような「第二のふるさと」となることを期待しています。農村の生活を直に肌で感じていただくとともに、是非、参考となる意見や斬新な発想を教えてください。……と考えています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大分市	担当部署 商工農政部 産業振興課 地域産業育成担当班
(ふりがな) はら のりあき 担当者氏名 原 範 明	TEL : 0 9 7 (5 3 7) 7 0 2 5 (直 通) FAX : 0 9 7 (5 3 3) 6 1 1 7
E-mail : sangyosinko2@city.oita.oita.jp	
URL : http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1205892953174/index.html	
応募宛先 〒 8 7 0 - 8 5 0 4 大分市荷揚町 2 番 3 1 号 大分市役所産業振興課 まるごと田舎暮らし体験事業担当者 宛	